

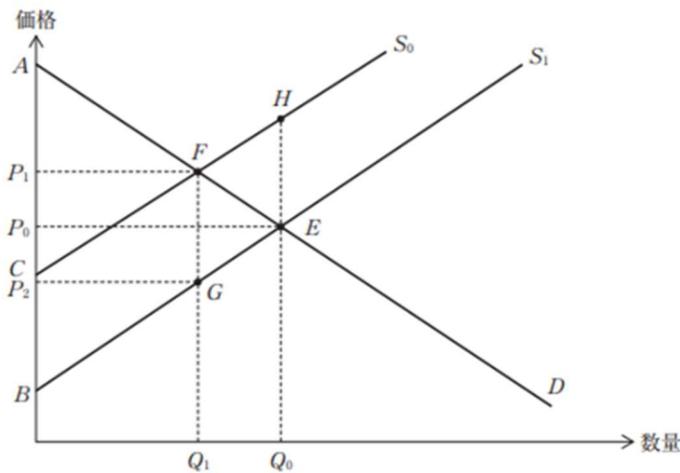
SHEET8 市場の失敗

レベル 1

R3 第 18 問

生産に外部経済が伴う場合の市場均衡を考える。下図には、需要曲線 D 、私的限界費用曲線 S_0 、社会的限界費用曲線 S_1 が描かれている。市場均衡は点 F で与えられ、均衡価格は P_1 、均衡取引量は Q_1 である。また、社会的な最適点は点 E で与えられている。

このとき、社会的に最適な状態を実現するために政府が生産者に対して補助金を交付するとする。交付される補助金の大きさとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



〔解答群〕

- ア 四角形 $CBEF$
- イ 四角形 $CBEH$
- ウ 四角形 $CBGF$
- エ 四角形 $FGEH$
- オ 四角形 $P_1 P_2 GF$

R3 第 21 問

消費の競合性と排除性に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

- a マグロの漁場のような共有資源には、排除性はないが、競合性がある。
- b 支払いにより加入をすることで消費ができるクラブ財には、排除性があるが、競合性はない。
- c 競合性と排除性を持ち合わせる財のことを公共財という。

〔解答群〕

- ア a : 正 b : 正 c : 正
- イ a : 正 b : 正 c : 誤
- ウ a : 正 b : 誤 c : 誤
- エ a : 誤 b : 正 c : 誤
- オ a : 誤 b : 誤 c : 正

R1 第 17 問

海洋資源などの共有資源に関する記述として、最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。

- a 共有資源の消費に対する無償の許可は、共有資源の消費の効率化につながる。
- b 共有資源の消費に対する有償の許可は、共有資源の消費の効率化につながる。
- c 共有資源は、消費に競合性があるが、排他性のない財として定義できる。
- d 共有資源は、消費に排他性があるが、競合性のない財として定義できる。

〔解答群〕

ア aとc イ aとd ウ bとc エ bとd

R1 第 19 問

情報の非対称性をもたらすモラルハザードに関する記述として、最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。

- a 雇用主が従業員の働き具合を監視できないために従業員がまじめに働かないとき、この職場にはモラルハザードが生じている。
- b 失業給付を増加させることは、失業による従業員の所得低下のリスクを減らすことを通じて、モラルハザードを減らす効果を期待できる。
- c 食堂で調理の過程を客に見せることには、料理人が手を抜くリスクを減らすことを通じて、モラルハザードを減らす効果を期待できる。
- d 退職金の上乗せによる早期退職の促進が優秀な従業員を先に退職させるとき、この職場にはモラルハザードが生じている。

〔解答群〕

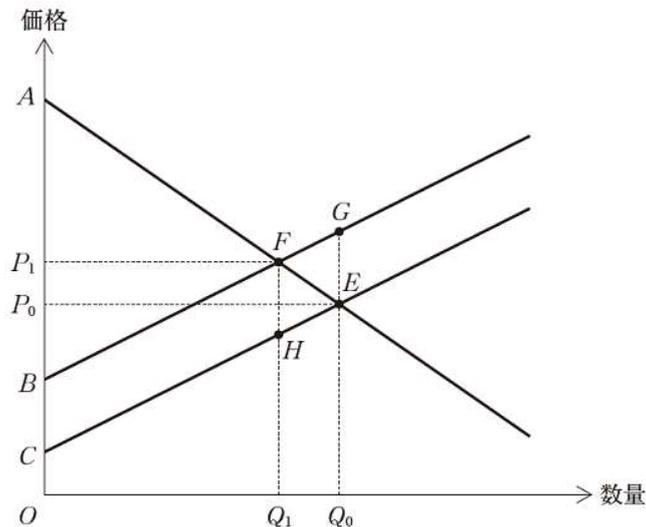
ア aとb イ aとc ウ bとd エ cとd

H30 第 16 問

外部不経済について考える。いま、マンションの建設業者と周辺住民が、新しいマンションについて交渉を行う。ここでは、周辺住民が地域の環境資源の利用権を持っているとする。マンションの建設によって、地域環境の悪化という外部不経済が発生するので、マンションの建設業者は補償金を周辺住民に支払うことで問題を解決しようとする。

下図には、需要曲線、私的限界費用曲線、社会的限界費用曲線が描かれている。

この図に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



〔解答群〕

- ア 資源配分が効率化する生産水準において、マンションの建設業者が補償金として支払う総額は□BFHCである。
- イ マンションの建設による外部不経済下の市場均衡において、外部費用は□BFHCで示される。
- ウ マンションの価格と、マンションの建設による社会的限界費用は、生産量が Q_0 のもとで等しくなる。
- エ マンションの建設による外部不経済が発生しているもとでの生産量は Q_0 になり、総余剰は△AECで示される。

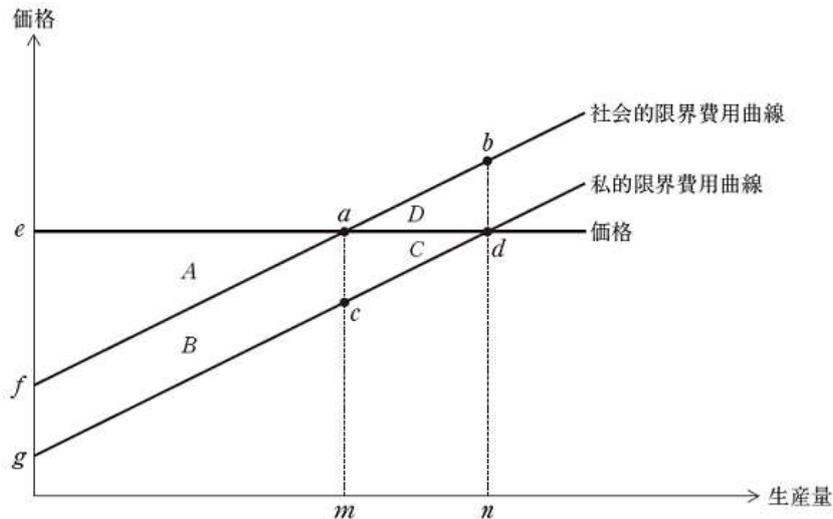
H28 第 18 問

地球温暖化を防止するためには、二酸化炭素（CO₂）などの温室効果ガスの排出量を削減することが必要である。CO₂の排出量を削減するためのインセンティブをより高める手段として、最も不適切なものはどれか。

- ア 企業が生産に伴ってCO₂を排出することに着目して、CO₂排出企業に減産補助金を与えること。
- イ 企業が生産に伴ってCO₂を排出することに着目して、CO₂排出企業に対してCO₂排出量に応じた課税をすること。
- ウ 私たちの生活における車の利用がCO₂を排出することに着目して、ガソリンの消費に対して課税をすること。
- エ 私たちの日常の生活がCO₂を排出することに着目して、すべての人に1人当たり定額の課税をすること。

H26 第 20 問

下図には、企業 R が直面する競争的な財市場における私的限界費用曲線、社会的限界費用曲線が描かれている。社会的限界費用曲線と私的限界費用曲線との乖離は、企業 R の生産活動に負の外部性が伴うことを意味する。この負の外部性の負担者は企業 S のみであり、企業 R との交渉を費用ゼロで行うことができる。また、企業 R の生産活動に対して、政府は外部性を相殺するピグー課税を導入することもできる。この図に関する説明として最も適切なものを下記の解答群から選べ。ただし、下図で、 $\triangle aef$ を単に A、 $\square acgf$ を単に B、 $\triangle acd$ を単に C、 $\triangle abd$ を単に D と呼称し、価格は e で所与のものとする。



[解答群]

- ア コースの定理に従えば、生産量は m となる。
- イ 自由放任の活動下で生産量が n のときに発生している死重損失は $C+D$ である。
- ウ ピグー課税が導入されると、企業 R の余剰は $A+B$ になる。
- エ ピグー課税が導入されると、政府の税収は $B+C+D$ となる。

H24 第 22 問

公共財に関する説明として、最も適切なものはどれか。

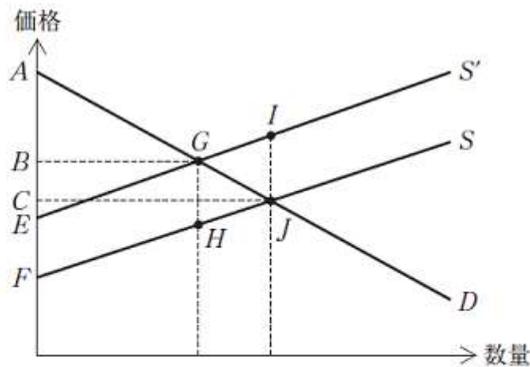
- ア 公共財とは、少なくとも競合性を有する財である。
- イ 公共財とは、少なくとも非排除性を有する財である。
- ウ 公共財とは、政府のみが供給する権利のある財である。
- エ 公共財とは、納税者のみが利用する権利のある財である。

レベル2

R2 第18問

オーバー・ツーリズムによる地域住民の生活への悪影響に対して、政府が税を使って対処することの効果を考える。下図において、Dはこの地域の観光資源に対する需要曲線、Sは観光業者の私的限界費用曲線、S'はオーバー・ツーリズムに伴う限界外部費用を含めた観光業者の社会的限界費用曲線である。

この図に関する記述として、最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。



- a 課税によって、観光客の余剰は四角形BCJGだけ減少する。
- b 課税によって、観光業者の余剰は四角形EFHGだけ減少する。
- c 課税によって、この地域の総余剰は三角形GJIだけ増加する。
- d 課税によって、政府は四角形EFJI の税収を得る。

〔解答群〕

- ア aとb
- イ aとc
- ウ bとc
- エ bとd

R2 第23問

一般に公正性は、何をもって公正とするかの価値判断が必要とされるため、一義的に決めることは難しいが、公正性の貢献基準によれば、生産活動における各人の貢献の度合いに応じて所得が分配されるとき、公正性が実現する。

この貢献基準に関する記述として、最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。

- a 貢献基準は、すべての人々が平等に所得を得ることを前提としている。
- b 貢献基準では、熟練労働者の方が未熟練労働者よりも、賃金水準が高くなる。
- c 貢献基準では、資産をどのくらい保有しているかが考慮されている。
- d 貢献基準では、社会的弱者を救済することは難しい。

〔解答群〕

- ア aとc
- イ aとd
- ウ bとc
- エ bとd

R1 第 13 問

ここでは、ある財の消費者が、学生とそれ以外の一般消費者に分けられるものとする。このとき企業は、学生とそれ以外の一般消費者に対して異なる価格をつけることができる。また、学生は価格に対して弾力的である。

市場のパターンと、企業の価格設定に関する記述として、最も適切なものはどれか。

- ア この財の市場は競争的であり、学生に対する価格を引き上げると、企業収入が増加する。
- イ この財の市場は競争的であり、学生に対する価格を引き下げると、企業収入が増加する。
- ウ この財の市場は不完全競争であり、学生に対する価格を引き上げると、企業収入が増加する。
- エ この財の市場は不完全競争であり、学生に対する価格を引き下げると、企業収入が増加する。

H29 第 19 問

公共財や私的財などの財の特徴として、最も適切なものはどれか。

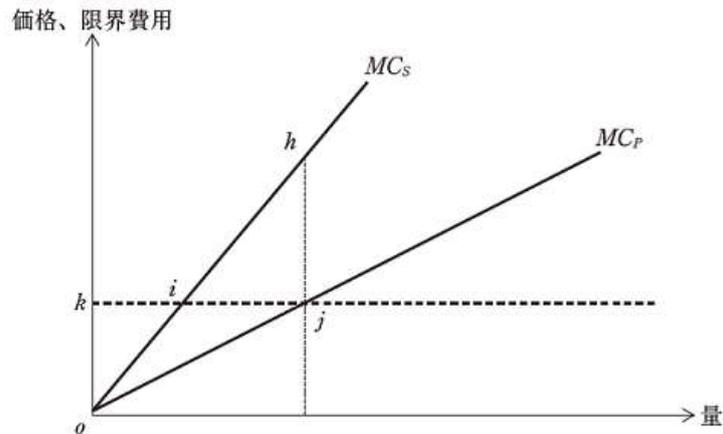
- ア 海洋漁業における水産資源は、すべての漁業者が無償で等しく漁を行うことができるという理由で、競合的な性格を持たない。
- イ 公共財の場合だけでなく、競合性と排除性を持つ私的財の場合にも、フリーライダーは出現する。
- ウ 公共財は、競合性と排除性を持たないので、等量消費が不可能になる。
- エ 有料のケーブルテレビは、その対価を支払わない消費者を排除できる排除性を持つが、対価を支払った消費者の間では競合性がない。

H28 第 17 問

いま、完全競争下にある合理的な企業の生産活動を考える。当該企業が生産活動で考慮する私的限界費用 MC_P は下図のように描くことができるものとし、価格が k であるものとして生産量を決定している。

ただし、当該企業の生産ではいわゆる「負の外部性」が生じている。負の外部性を考慮した社会的限界費用 MC_S は、私的限界費用に社会的負担を加えたものとして下図のように描くことができる。当該企業は、外部性を考慮することなく、価格 k と私的限界費用が一致する生産量を選択するが、社会的に最適な生産量は価格 k と社会的限界費用が一致する生産量であるため、社会的には過剰生産による厚生損失(デッドウエイトロス)が生じてしまう。

このとき、下図に関する記述として、最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。



- a 外部性を考慮しない当該企業の私的な生産費用の大きさは、 oik で示される面積に相当する。
- b 外部性を考慮しない当該企業の私的な生産者余剰の大きさは、 ojk で示される面積に相当する。
- c 外部性によって生じるデッドウエイトロスは、 ohj で示される面積に相当する。
- d 外部性によって生じるデッドウエイトロスは、 hij で示される面積に相当する。

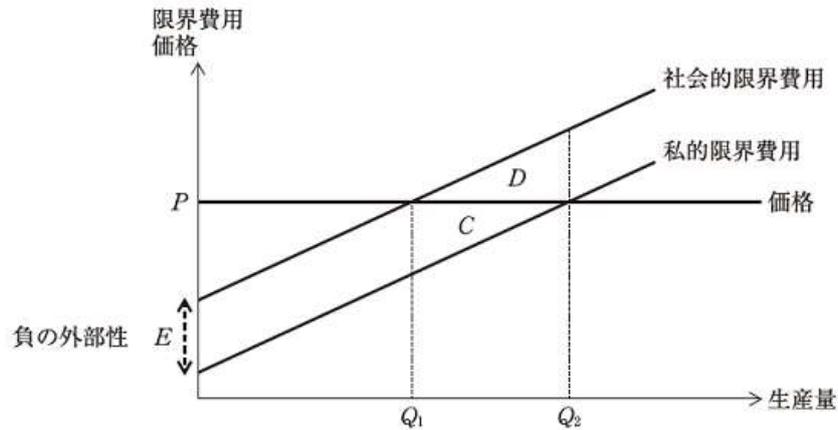
[解答群]

- ア aとc イ aとd ウ bとc エ bとd

H24 第 21 問

いま、企業 A が個人 B に対して負の外部性を発生させる財を生産している。下図は、企業 A の私的限界費用の上方に個人 B への影響を考慮した社会的限界費用が描かれており、線分 E の長さは限界的な外部性の大きさを表している。当該財の価格が P で一定であるとすれば、自由放任の状況下で外部性を考慮しない場合の企業 A が選択する合理的な生産量は Q_2 、外部性を考慮して社会的余剰を最大にする場合の生産量が Q_1 となる。なお、図中の C と D は線で囲まれた範囲の三角形の面積を表すものとする。

この図に関する説明として、最も **不適切** なものを下記の解答群から選べ。



[解答群]

- ア 現状で生産量 Q_2 が選択されているとき、コースの定理によれば、企業 A と個人 B の自発的な交渉が可能であれば生産量 Q_1 が選択される。
- イ 自由放任の状況下で外部性を考慮しない場合の企業 A が選択する生産量 Q_2 は、2 つの三角形の面積の合計(C+D)に相当する死重損失を生む。
- ウ 数量規制によって生産量が Q_2 から Q_1 へ減少する場合、企業 A は、面積 C に相当する分だけ余剰が減少する。
- エ 生産量が Q_2 から Q_1 へ減少する場合、個人 B は、2 つの三角形の面積の合計(C+D)に相当する分の外部不経済を被らずに済む。

解答

SHEET8 市場の失敗			
レベル1	R3	18	イ
	R3	21	イ
	R1	17	ウ
	R1	19	イ
	H30	16	ア
	H28	18	エ
	H26	20	ア
	H24	22	イ
レベル2	R2	18	イ
	R2	23	エ
	R1	13	エ
	H29	19	エ
	H28	17	エ
	H24	21	イ